

大阪市立今市中学校 令和元年度校長経営戦略支援予算【基本配付・加算配付】実施報告書
(補足説明資料)

本校では、「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という問いに対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させることを年度目標とし、年度目標に応じた事業効果を測る指標として、「ICTの利用により、勉強に意欲的に取り組むことができた」の項目を肯定的に答えた生徒の割合を、取組実施前後で10%増加させることを設定した。

上記を達成するために、以下の取組を行った。

1. 取組内容（1）について

大阪市教育振興基本計画における「施策4 国際社会において生き抜く力の育成」を実現するために、教室におけるICT環境を整えた。本年度により、すべての普通教室において、マグネット式巻き取り型スクリーンの設置を行うことができた。また、すべての普通教室にBluetooth対応スピーカーを置くことで、授業、合唱コンクールの練習など様々な場面で活用することができた。ICT環境を整えることで、勉強に意欲的に取り組み生徒が増え、話し合い活動も積極的に行うことができた。

取組内容（2）について

大阪市教育振興基本計画における「施策3 道徳心・社会性の育成」を実現するために、芸術鑑賞を行った。狂言と落語の鑑賞を行った。中でも、盲目の落語家の桂福点さんによる落語は、入場の瞬間から圧倒的な存在感で会場が引き込まれた。伝統を繋いでいく大切さや、困っている人に手を差し伸べる優しさについて学ぶことができた。

2. 総論

校長経営戦略支援予算の活用により、ICT環境の整備を行うことができた。今年度で、授業でICT機器を活用できる環境が整ったこともあり、今後は積極的に活用を進めていきたい。また、ICT機器の活用により、基礎的・基本的な知識技能の習得を進めることで学力向上を図る。

本年度、芸術鑑賞として狂言と落語の鑑賞を行った。来年度は、旭区役所に紹介していただいた、地元出身落語家の桂坊枝に芸術鑑賞を行っていただくことになった。

来年度も、学力向上は当然のことながら「心優しい今中生」を育てていきたい。